



Vol.03 2月号
2017年2月15日発行

〈発行〉
石巻市市街地復興工事調整会議
調整事務局

(国交省北上川下流河川事務所・宮城県東部土木事務所・石巻市)

連絡先：石巻市復興事業部基盤整備課
☎0225-95-1111 (内線) 5517・5518

にぎわい 観光振興 に力あわせる

内海橋
周辺地区

中央二丁目の川沿い付近は、「いしのまき水辺の緑のpromenad計画」で中心市街地における活性化を推進する拠点の一つであり「雄大な旧北上川を眺めながら石巻の食を堪能するエリア」とされています。

平成28年には「石巻川開き祭り」のお祭り広場や花火大会の会場にもなり、石巻だけではなく、他地域からも多くの人が集まってきました。

この地区では、中心市街地のにぎわいを取り戻し、観光振興にもつながるよう、河川堤防と背後地のまちづくりが一体となって進められています。

背後地では、土地区画整理事業により、道路や交通広場、北広場、下水道などの基盤整備が行われています。

また、観光振興の拠点施設として民間による「(仮称)石巻生鮮マーケット」が着工され、市による立体駐車場の工事も始まっています。今後、公共施設整備も予定されています。

さらに、新内海橋の工事が進められており、旧北上川の両岸と中瀬地区をつな

ぐ新しい橋の整備も予定されています。中央一丁目地区では、昨年10月22日に「まちびらき」が行われており、復興まちづくりは地域的にも面的にも広がっていくこととなります。

円滑な工事にむけ調整を進める

復興工事調整会議では、多くの事業が同時並行的に進められているこの地域を「内海橋周辺地区」として、工事発注者及び受注者がそれぞれ組織を作り、運搬路の確保など、円滑な工事にむけ、事前に調整を行っています。取り組んでいる主な調整は下記の通りです。

- ①土地区画整理事業と隣接する河川堤防工事などの土砂運搬路の確保
- ②「(仮称)石巻生鮮マーケット」開業に合わせた工事工程の調整
- ③排水ポンプ場建設が今後予定されている中で、市街地の排水を行いながら、河川堤防の整備を進捗させる調整

この地区では多くの復興事業が集中しています。

事業者	事業(工事)内容
国	旧北上川河川堤防の整備
県	新内海橋の整備
石巻市	土地区画整理事業 ・建築物地階解体撤去 ・道路の整備 ・交通広場の整備 ・北広場の整備
	下水道管の整備 公共施設などの整備 立体駐車場の整備 堤防一体空間の整備
民間等	(仮称)石巻生鮮マーケットの整備 商会議所の整備
インフラ整備	水道管の整備 電力線の整備 電話線の整備 ガス管の整備

※工事予定含む



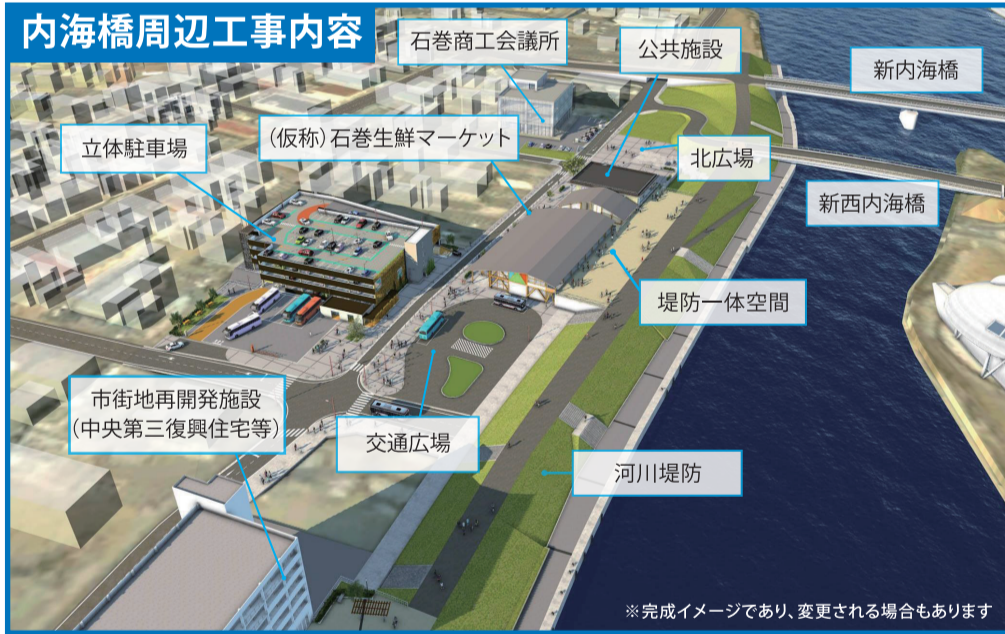
土地区画整理事業で生まれ変わった「中央一丁目商店街」では昨年10月22日に「まちびらき式」が行われ、復興への一歩を踏み出した。

新たな魅力づくり 河川堤防と堤防一体空間



堤防一体空間
テラス(夜間)

洪水などから守る河川堤防と、にぎわい空間の堤防一体空間や水辺テラスを整備します。



※完成イメージであり、変更される場合もあります

災害に強い道路網を実現する 新内海橋



全長202mの新内海橋は、橋台・橋脚の工事が行われています。橋の高さを上げることで、津波や高潮などに対応した災害に強い道路網が実現します。

今春オープンにむけ着工した (仮称)石巻生鮮マーケット

地元の水産物や加工品、農産物を販売し、食事も楽しめる施設として、2017年春のオープンを目指す「(仮称)石巻生鮮マーケット」が着工しました。堤防一体空間との一体的な整備により、旧北上川と連続した空間が創出されます。



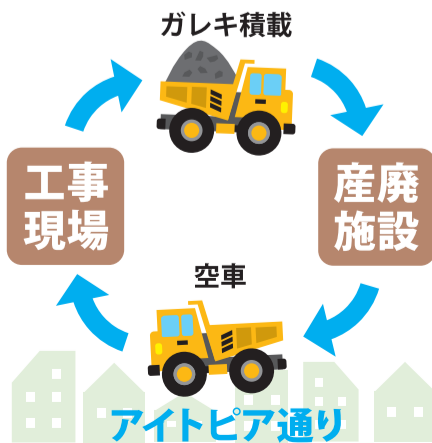
安全・安心な生活を実現する 復興住宅

堤防一体空間に隣接した中央第三復興公営住宅が完成しました。この公営住宅は津波避難ビルにも指定されています。



環境全 運搬方法の 小さな工夫

中央二丁目の区画整理地内の建築物地階解体撤去工事では、ガレキの産廃施設への搬出に当たって、アイトピア通りを通行せざるをえませんでした。商店街のイメージや安全に配慮し、ガレキを積載したトラックがアイトピア通りを通行しないよう工夫しました。



中央二丁目地区建築物地階解体撤去工事現場代理人 高橋さん(遠藤興業)

引き続きご協力を お願いします。

復興工事調整会議では、工事相談窓口へ寄せられた要望・苦情に速やかに対応するとともに、工事調整ガイドラインに基づいて環境保全や交通安全対策に取り組んでいます。

ご迷惑をおかけすることもありますが、引き続きご協力をお願いいたします。